

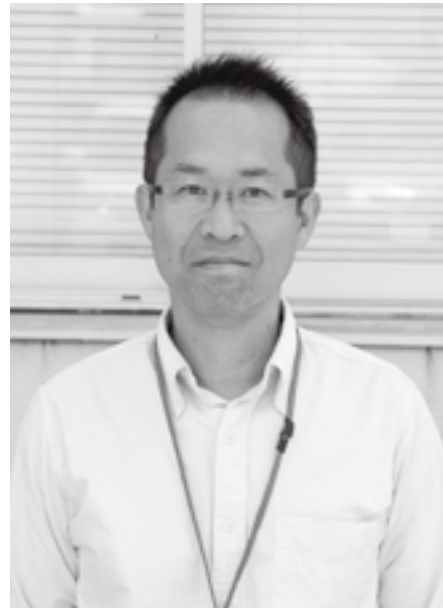
安心して暮らすことのできる
地域づくりを目指して

ホームケアクリニックえん 院長

千葉 恭一さん

消化器の専門医として総合病院に勤務していた千葉さん(盛岡市)は、病気だけではなく患者さん自身の過ごしてきた時間、価値観、生活背景も診たいと在宅医療の道へ進み、4月に訪問診療専門の「ホームケアクリニックえん」を青柳町に開所しました。

「どんな病気や障がいがあっても住み慣れた場所で穏やかに笑顔で過ごせるように、医療の立場で支えていきたい」と話し、在宅医療は支える医療であり、みんなが安心して最期のときまで暮らせる地域づくりの一環と考えます。また、在宅療養は患者、家族の生活が成り立つことが前提で、医療だけでは限界があり、生活を支える他業種との連携、協働が必要です。そのため、患者、家族も含めたケアカンファレンスと呼ばれる会議が重要と考えます。会議では、それぞれの専門性を尊重



し、対等な立場で話し合います。一番大事な点は患者、家族が中心であることを忘れず、患者、家族にとつて

の最善は何かを考えていくことで、患者に良き理解者のひとりと思ってもらえるよう寄り添っていくことを心掛けています。

技術の進歩により自宅でも高度な医療が行えるようになってきており、最期の時間を過ごす場所に自宅を選ぶ人が増えてきています。「もちろん、最期をどこで迎えるかは人により違います。自宅が選択肢のひとつになれば」と千葉さんは話します。

診療所の名前の「えん」にはにぎやかにみんなで楽しめるような家での生活を支えていきたいという意味の「宴」、みんな丸く連携を取りながらという意味の「円」、そして地域の皆さんとのご縁を大切に、その人らしさと笑顔のある在宅生活を支えていきたいという思いが込められています。

▽ホームケアクリニックえん
所在地：青柳町二丁目5-15
☎61-51160

一子小学校6年2組

6月28日 #87

☆どんなクラスですか？

- ・すごく元気なクラス(菜々子)
- ・いつもにぎやかで笑顔がある(由佳)
- ・笑わせてくれる人がいっぱいいて明るく楽しいクラス(亮星・俊斗)
- ・本番に強い(玲)
- ・一人一人が個性を持っている(俊輔)



☆児童たちへのメッセージ

いつも元気200パーセントの皆さん。最高学年として、どんなことにも「最善」を尽くしていきましょう。そして、笑顔と思いやり、感謝する心を大切に最高の1年にしていきましょう。



山田 秀勝 先生

みんなの広場

あなたもこのページに登場しませんか？
各コーナーにご協力いただける人(自薦・他薦)を募集しています。
広聴広報課広報係までお問い合わせください。☎72-8230



詩歌倶楽部

147

|| 中高生の詩歌 ||

網戸にし高校生らのペンの鳴る
二年 千田 一稀
初夏の空パステル片手に絵を描く
一年 川谷 尚也
衣替えカチリふれあう色の玉
三年 伊藤 詩歩
パセリ噛む克服したいことがある
二年 及川 憂紀
ネクタイの柄ストライプになって初夏
二年 高橋 倭子
(黒沢尻北高等学校)

※掲載した作品は、日本現代詩歌文学館内で展示しています。



古川 駿太くん

平成23年6月4日生まれ
(本通り)

お父さん 古川 恒一さん
お母さん 裕子さん

電車が大好き。
これからもいっぱい食べて
元気に大きくなってね。



筒井 菜萌ちゃん

平成23年11月19日生まれ
(柳原町)

お父さん 筒井 直哉さん
お母さん 麻美さん

お兄ちゃんの真似をして、
鬼剣舞を踊ります！
たくさん食べて、たくさん
笑って大きくな～れ♡



今月の
アーティスト
182



八塩 瑞樹くん
(藤根幼稚園・5歳)



おやこえんそく むら い れっしや の とま え てんき
親子遠足でニュージーランド村に行って、列車に乗った時の絵だよ。天気もよ
くて、みんなと一緒に乗って楽しかったよ。